

平成28年度大阪府私立学校審議会平成28年12月定例会議事録

- 1 と き 平成28年12月22日(火)  
開会14時00分～閉会15時20分
- 2 と ころ 大阪府庁新別館北館1階 会議室兼防災活動スペース2

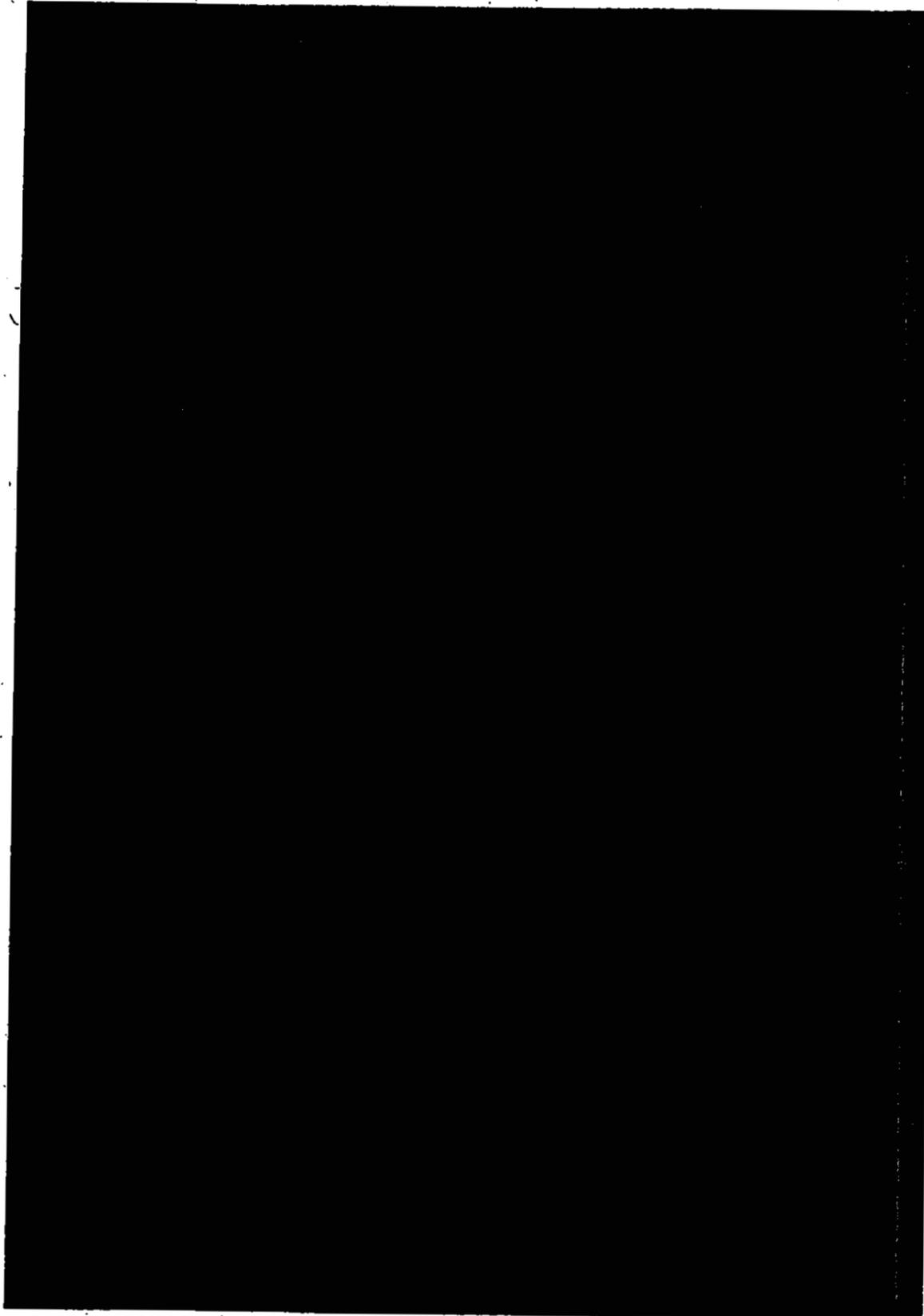
3 出欠状況

出席委員 (15人)	梶田叡一委員(会長)、森眞太郎委員(副会長)、天野久委員、 重山香苗委員、辻本賢委員、山北浩之委員、安達謙委員、 石田和孝委員、白江眞由美委員、辰巳正信委員、上田哲也委員、 古武一成委員、福田益和委員、木原俊行委員、林啓二委員
欠席委員 (3人)	善野八千子委員、辻川圭乃委員、満田育子委員

- 4 議事録署名委員 上田委員、石田委員
- 5 議 案 別添のとおり
- 6 議事概要 別添のとおり

以上の審議の結果を証するため署名押印する。





事務局	「瑞穂の國記念小學院」について説明。
	はい、ありがとうございます。ここでも非常に慎重に慎重に審議をして頂いて、一応は認可しますが、このプロセスは、私共も見守りながら、必要があれば私学課を通じてご指導すると、まあこういうようなことで認可相当として見守っているわけですね。今のようにまだたくさん来てということはありませんが、校舎ができたり、6割は子どもが来るということで進んでいるということです。実は、事務局からコピーをいただいたんですが、 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> がここを取り上げているようで、安倍総理の奥様が名誉校長になられている。極めてユニークな学校です。ユニークだからいけないというわけではないですけれども、ただ認可の時にだされた条件がきちんと履行されているかということにつきましては、私学審議会委員皆の責任ですので、これからも私学課に実情を調べていただきながら、認可の時の条件、これが満たされるきちっとした、まあ学校教育法第一条の小学校ですから、公教育の一貫として機能していくように我々も見ていくと、こういうことになっております。
	よろしいでしょうか。ご質問なんですけれども、入学者はA日程、B日程の両方の入学試験を終えた時点で6割ということですか。
事務局	はい。
	これは入学手続をされている方ですか？
事務局	はい、そう聞いています。
	志願者は何名ですか。
事務局	現在、入学が確定した人数ということです。
	確定ですか。我々私学の連合会から問い合わせしているのですが、数字として教えていただけない。私は、直接私学課さんに人数を聞いていただきたいとお願ひしました。私学課さんから問い合わせても、人数を教えていただけないと、6割という答え方しかなぜしていただけないのかというところ。それからこれは1年生ですか？新入生？
事務局	1年生です。
	2年生についても80名募集されているんです。2年生については、80名の内、何名入学予定ですか。
事務局	2年生につきましては、ゼロではないですけど、という状況です。

事務局

平成26年度の審議会ですか、平成27年1月27日に臨時会を設けて児童確保の確実性についてということで、指示を色々いただきましたよね。そこでその時に申し出ていただいた資料では、大阪府から101名の出願が、それから兵庫県下の阪急沿線から16名の出願が見込まれ、合計117名の出願が見込まれるということで資料がだされていたんですよね。2年生については、内部から在園の幼稚園から16名、それから色々分析して合計55名、1年目は2年生の入学定員は50名でしたので、55名の出願が期待できるので50名の確保は十分可能であると、資料で、1年目開校できないということで、2年目開校になって2年生は定員を80名に増やされたのです。

事務局

そうです。

1年目開校見送られて、公立に行かれた方が編入テストを受けてくれるのではないかと、この予想のもとに80名にされたのだと思います。ですのであの時の資料等見て、こういったことで、本当にこう、資料とならないの数をだしてこられて、非常に不安だなと、2年生80名の定員で開校しますということなのに、今おっしゃるようにゼロじゃないと。なぜ答えていただけないのかなと。我々、連合会としても来年度の予算立てをしなくてはならない。ですから何名の入学者がいて、今まででしたら17校でしたけれど、18校で児童割りがこれだということ、これぐらいの子ども達が入ってきてこれだけの収入があってそれでということをどんどんしていけないといけないのだが、連合会でもなかなかお答えしていただけない。ましてや私学課から問い合わせさせていただいても6割という答えしかどうしてしていただけないのかと。

事務局

その連合会から来年の予算取り等の関係で、確定した数字をいただきたいということ、こちらの方からもう一度お伝えしまして、今現在の確定した数字を聞かせていただけるようもう一度お願いはします。こちらの方からも、今現在集まっている人数が認可に影響を及ぼすものではないという判断で、そこまできつく今確定で何人ですかということも聞いておりませんでしたので、その辺反省しまして、小学校連合会につきましては、今後のこともありますので、確定した数字をお伝えするようにさせていただきます。

事務局

我々としたら入学者もちろん必要になってきますが、志願者が117名と出されていた。新入生の志願者がどれだけなのか、2年生が55名は出願できるだろうと。それが、どれだけの出願があったのか、その辺もきちっとこの会としては把握しておかなければいけない数字じゃないかと思うんですけども、その辺りですね。入試説明会も第6回の1月22日曜日、追加として、3月5日曜日に実施されますよね。それはあくまで今ご説明あったように、平成30年度に向けたものではなく、平成29年度入試に向けたものということですよ。数はそうですね？ということはD日程、その先も入試があるということですよ。3月5日が追加の説明会ですが、その後に入試が行われるということですよ。

事務局

4月1日ぎりぎりまで頑張るということです。現実的ではないというのはわかっていますが。

まあこれからも、今ご指摘いただいたところを踏まえて、私学課でまた色々とする

だけの情報をとっていただく。見守っていくと、問い合わせも含めてという風にしていただきたい。

事務局

すみません。さきほど私学課のご説明の中で人数的には、7割でなんとか回る見込みとお話があったのですが、7割というのは1年生80名プラス2年生80名の人数の7割という意味でしょうか。

事務局

全体の定員の7割です。

事務局

16.0名分の7割ということですか？

事務局

そうです。もし今回2年生をあきらめるということであれば80名の7割ということになります。

事務局

2年生分の教員は確保しているわけですよね。教員は1、2年生全て確保しているわけですよね。2年生が思わしくなければ、かなりしんどいことになるという見通しですよ。わかりました。

事務局

財務状況をまた、というのは、ここの学校の特異なところは、普通であれば学納金と補助金を中心としてプラスアルファで寄付金となりますが、ここはたくさん寄付金を見込んでやっているという、財務構造が他とは違う部分がありまして、建てる場所では実際寄付がきたということで建てておられるようですけど、一応から、給料の支払は大変ですよ、子どもがこなかったら、途中で子どもに不利益なことが起こったらいけませんので、財務状況を私学課できちっとみていただくというところをお願いしたいと思います。今回は12月段階ですから、子どもにしてもさきほどお話をありましたように2月、3月で来るのではないかと向こうが言えば、こないとも言えないというところがあります。まだ今日は中間的な状況報告ということでまた年度末に向かっては、今の財務状況で、年度末になったら、財務状況をはっきりしないといけないので、私学課にはよろしくお願ひします。

事務局

先ほどのでしたっけ？安倍首相の奥様が名誉校長になられたという記事について、その経緯の裏づけとかどういうバックでもってなられたのか、大阪府は把握されているのですか？

事務局

大阪府には正式になったという報告はいただけていない。

事務局

ですからわざわざ瑞穂の園記念小学院に問い合わせたりはされないのかもしれませんが、社会情勢というか、一般的に内部でも問題になっている開校のところですので、現首相の奥様が名誉校長になっていることが気になるんですよ。

事務局

パンフレットに載っています。

事務局

パンフレットに載っているのですか。一般的になんでそうなるか興味がわくでしょう

	し、我々もなんで？ どういう経緯で？ と当然気になります。それをスルーしていくと後で、大きな問題になるのかなと思います。それで聞いてみたんです。それともうひとつ、 [redacted]をとられたということをご存知ですか？
事務局	いいえ知りません。
[redacted]	とられたみたいなのですよ。聞くところによると、勉強熱心で、 [redacted]を取られたとのだなど思うのです。あの学校は特に神道系ではないですよね？
[redacted]	違いますね。
[redacted]	どういふ思惑でそうなっているのか気になるのですよ。ですからその辺も解明できればなおさら状況がわかるのかなと思いましたが、一つの意見として。
[redacted]	幼稚園関係者の方から、現在も幼稚園を運営されている法人の園の手紙の中で非常に差別的な発言の手紙が出回ったとの情報があります。これについては私学課にも情報提供いたしました。また、 [redacted]をしていて、マスコミを私学課に連れてきたと情報もあります。これらについて、皆さんと共有しないでいいのですか？ とても大事な情報だと思います。あとになってそんなこと知らないとなると、この会の責任問題になると思います。
事務局	今事実を確認をしている段階で、事実として確定したわけではないので、今日の段階ではお出ししていない。 [redacted]私学課に来られて、そういう申し入れをされましたので、今幼稚園側に事実関係を確認している段階ですので、今日の段階では事実として確定していませんので出していません。確定し、わかりましたら次回の審議会で経緯等報告させていただきます。
[redacted]	マスコミを関係の方を連れてこられたのは事実ですか？
事務局	事実です。
[redacted]	私が言っているのは、そういうことがあったのかという事実で、中身ではないです。支那人とかそういう表現の手紙が出ているのは事実ですよね？
事務局	コピーがありますので、それについてどういふお考えですかと、今園側に聞いています。
[redacted]	何年かの間に退園された保護者の方から、私学課とか幼稚園連合会にかかってきた電話が1件や2件ではないというのも事実です。
事務局	件数的には同じ方がかけてきているという事実がありまして。
[redacted]	何年かですよ。この1年間だけではなくて。

事務局	私共で調べたのは2年間で、それ以前は事実として確認していません。
[redacted]	確認して下さい。
事務局	正確に申しあげると、コピーを持ってこられたというのは事実で、それが本物かどうかを今確認しているところです。
[redacted]	細かいところは今ありましたように、少なくともトラブルは起こっているということであり、トラブルの中身については確認していただいて、今日は中間報告ですから、全部出たわけではないですけど、色々と私学課の方で事実確認をしていただいているということですので、次の審議会でもこのことについて、報告していただくことをお願いします。教育事業というのは、信頼関係で出来上がっていますので、不信感をもたれてはいけません。世の中に不信感をもたれるのはいけないことであるし、もちろん保護者が不信感を持つのはもっと悪い。私達は本当に細心の注意を払って、直接保護者、子どもとのあいだの信頼関係もありますが、社会的な信頼にも常にこだわっていかなければならない。今日もそういうことでの色々な問題提起をしていただいたのではないかと考えてます。次にまた重要な事があれば報告して下さい。もちろん認可の時の話と大きく違うような事が起こればもちろん、次の審議会を待たなくても、場合によっては皆さんにお知らせしなくてはならない。その辺もお含みいただければと思います。
[redacted]	教育庁の方をお願いしたいことがあります。2月に建物完成検査にいかれるのですよね？ 今、教員の募集は、新卒も含めて済んでおられるとおっしゃっていました。そこで例えば、教員が全員新卒である可能性も無きにしも非ずだと思うんですよね。頭数合わせだけということもあるので。幼稚園でも全員新卒で全員担任を持つというのは不可能だと思う。その辺りをきちっと見ておかないと、私達幼稚園業界からすると、細かいところまでつかないと見えてこないところがあると思います。丁寧にみていただきたい。
[redacted]	あと瑞穂の國記念小学院について、他に、これだけはというのは、なにかありますでしょうか？
[redacted]	よろしいでしょうか？
[redacted]	繰り返になりますが、色々と確かめていただいて、審議会で状況を教えていただきたい。ただし重大な、認可の時の話と違うようなことがあれば、次の審議会と言わずに可及的、速やかに委員の皆様にお知らせすることもありうると。こういうことでこの報告は、中間的なものですけど、こういうことにおきたいと思っています。
[redacted]	[redacted]